ピックアップ議会

沼津市都市計画マスタープランが改定されます

沼津市都市計画マスタープランは、地域の特性や住民の意向を踏まえつつ、「将来どんなまちを目指すのか」「どんなところに力を入れていくのか」を明らかにする計画として、平成13年3月に策定されたものです。

その改定について、建設水道委員会にて報告があり、質疑が交わされましたので、お知らせします。

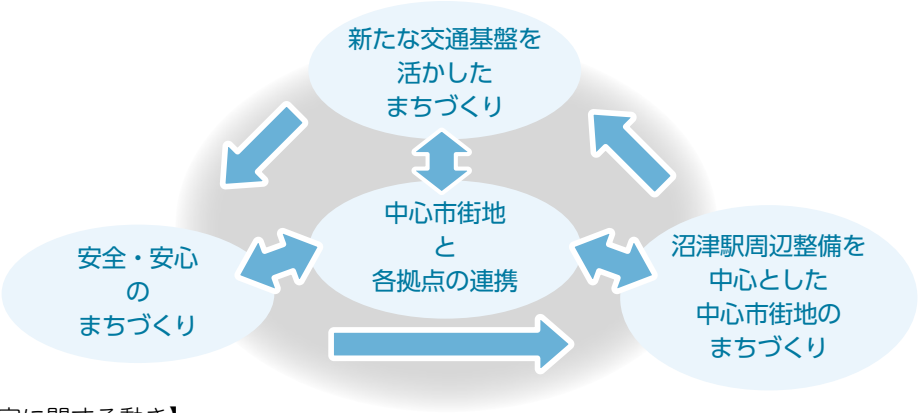
改定の主な内容

【背景と目的】

人口減少・超高齢社会の到来、新東名高速道路や東駿河湾環状道路などの新たな基盤整備、東日本大震災等の大規模な地震災害の教訓を踏まえた自然災害への対応など、市を取り巻くさまざまな環境が大きく変化してきたことから、それらに対応するべく、改定を行います。

第4次沼津市総合計画が目指す「人と環境を大切にする県東部広域拠点都市・沼津」を実現していくために、これまでの都市構造を、時代の流れにあわせた「4つの視点のまちづくり」で見直していきます。

社会情勢の変化に対応するため、「中心市街地と各拠点の連携」をベースに、拠点とネットワークの構築により「新たな交通基盤を活かしたまちづくり」と「沼津駅周辺整備を中心とした中心市街地のまちづくり」、「安全・安心のまちづくり」を連動させます。



【改定に関する動き】

- 平成28年3月～11月　都市計画マスタープラン改定案策定委員会の開催
- 平成28年8月26日、28日　都市計画マスタープラン改定に向けた市民ワークショップの開催
- 平成28年12月12日　沼津市の目指すべき将来の都市の姿を語る会開催
- 平成28年12月12日～平成29年1月11日　パブリックコメント実施

※改定されたマスタープランは、市のホームページで公開予定です。

建設水道委員会での主な質疑

問 前回のマスタープランとの相違点は。

答 市として、海と山をどう見るかという認識が大きく変わっている。東日本大震災以降、海岸部に対する認識も変わっており、県は『「内陸のフロンティア」を拓く取組』として、新東名と東名の2つの高速道路を軸にした県土づくりの方向性を明確にした。本市もそれに連動する形で、スマートインターチェンジの設置や企業誘致などに大きくかじを切っている。そこが前のマスタープランとは認識が違い、最大の相違点であると考えている。

問 鉄道高架事業について、市長は中立な立場であるとの発言がある中で、この計画は従来どおり推進の内容となっている点については。

答 都市計画マスタープランをこのような手順で進めることについては、市長と十分すり合わせた上でのことである。